

小児で受傷した相談ケース、御家族の声

【相談件数（大阪府障がい者自立相談支援センター）】

（※）新規実件数の合算

平成19年4月1日～令和3年3月31日までの全相談件数 5,404件（※）の内、データ上小児期受傷と確認できた件数は、483件。

（ただし、全相談件数の内、相談時年齢を把握しているのは4,449件、受傷時年齢（受傷・発症日）を把握しているのは2,909件であり、今回は、2,909件の内から小児期受傷を算出）

	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	計
相談件数①	16	21	29	20	27	25	21	19	26	19	13	11	12	12	271
相談件数②	-	-	22	12	4	20	35	34	20	25	12	5	14	9	212
計	16	21	51	32	31	45	56	53	46	44	25	16	26	21	483
（全相談件数）	332	375	305	388	435	462	416	436	473	410	413	332	313	314	5,404
（相談件数割合）	5%	6%	17%	8%	7%	10%	13%	12%	10%	11%	6%	5%	8%	7%	9%

※相談件数①は、相談時20歳未満（一部20歳以上の大学生を含む）

※相談件数②は、相談時20歳以上で、小児期に受傷したケース

【原因】

【相談件数】

原傷病	①	②	合計	相談者	①	②	合計
外傷性脳損傷	140	151	291	当事者	2	51	53
脳血管疾患	21	22	43	家族	121	78	199
低酸素脳症	5	4	9	市町村	9	11	20
脳炎	21	3	24	支援者	37	30	67
脳腫瘍	11	5	16	病院	84	33	117
その他	21	23	44	その他	17	8	25
不明	52	4	56	不明	1	1	2
合計	271	212	483	合計	271	212	483

・小児期受傷の相談ケースは、35件/年

（データ上の算出）。

・外傷性脳損傷や脳炎が多い。

・相談時20歳未満の場合は家族からの相談が多く、受傷から間もない場合も多いので病院からの相談も多い。相談時成人の場合には、本人からの相談も多い。

【相談内容】

- ・リハ・訓練を受けたい
- ・PTSD
- ・学習面がついていけない
- ・友人関係がうまくいかない
- ・不登校
- ・非行
- ・進級・進学・就労
- ・きょうだいとの関係
- ・親の会等、同じ立場の人の話を聞きたい

【御家族からの声(大阪急性期・総合医療センターより)】

- 学校に相談しても、高次脳機能障がいの支援について知らないことが多い。
- 適切な支援を受けられない。
- 他の方はどうしているのか、家族の声を聞きたい。
- 思いを共有出来る場がない。
- 高次脳機能障がいの症状や対応について、進級時に、申し送りをしてもらえない。何度も伝えないといけず、疲れる。

→把握されているケースや、ほか高次脳機能障がい児の支援についての御意見をお願いいたします。

(例：発達障がいとの関連や、リハビリテーションと教育の両立等)